

中期計画 N2018 の検証

平成 25 年度改組による総合情報学科 12 コース制を見直し、総合情報学科を情報システム学系、数理情報学系、社会情報学系の 3 学系制に改組して、新たな学びの特色を実現するため、創成科目の新設、アクティブ・ラーニングを活かした科目の充実など低学年における学びを充実させ、学生の学習意欲を高める取り組みに努めています。また、急速に進む超少子高齢社会において、高度な実践能力をもち情報化社会における地域医療に貢献できる看護職の育成を目指して、看護学部看護学科を新設し、教育研究活動をスタートさせました。

教育の質の向上（保証）については、その実現に必要とされる 3 つのポリシーを踏まえた教育の PDCA サイクルに関する一連の流れを、P（学修成果の目標とその実現手段）、D（3 つのポリシーを踏まえた教育活動）、C（学修成果の評価基準）、A（評価に基づく改善）とみなして内部質保証システムの構築と運用方法の確立に向けた検討を行いました。

入学者の確保としては、新たに志願者の獲得目標数を設定して、入学者の質を重視した入試広報の展開、高校教育と大学教育との接続、海外高校からの安定的な入学者確保のための協定校締結を実施するとともに、受験生への直接的な広報展開によってオープンキャンパス等イベント来場者の増加に伴い、総合情報学部においては、志願者数、入学者数の増加につながることができました。

研究戦略では、本学が協定を締結する自治体との地域連携プロジェクトを進め、多くの教員の参画によって地域連携の分野に幅を持たせながら推進しています。また、看護分野での研究プロジェクトも始動しています。

管理運営面においては、改正学校教育法に伴う学長のリーダーシップ確立を実現させるために、学長連絡会、運営委員会、各学部教授会の位置づけを明確にして運営しています。高等教育機関として学生が安心して学べるキャンパスを構築するため、予見される脅威に対して予防並びに迅速・的確な対応が可能な危機管理体制及びインフラ整備を目指し、さらに、自然災害、事故・事件、疾病への対応のほか、情報セキュリティポリシーの策定等情報セキュリティに対する取り組みも進めています。